地域とお客さまの発展のために

停滞から躍動へ

平成25年度は、日本経済が金融緩和と財政支出を中心とした政策効果により、約20年に及ぶ低迷期を脱し、デフレ脱却への道を歩みはじめた年といえます。

お取引先の中からも、現状を停滞から躍動への転換期と捉え、先を見据えた設備投資や新たな分野への進出など一歩前に動き出そうとする企業が徐々に増えてきております。

一方で、景気回復局面にあっても、消耗した体力を回復できずにいる企業や後継者問題等の特殊な要因から先行きの展望が描けずに苦慮している企業もいらっしゃいます。前向きな「動」と躊躇する「静」といった2極化現象を背景に当地区の景気回復に向けた歩みは、大都市圏に比べ少しゆっくりとしたものとなっております。

このような環境下、当金庫では中期経営計画「せいしん BUILD UP プロジェクト」を進めております。本計画では、業務運営の柱に「お客さま志向」を据え、お客さまの目線に立って考え、お客さまにとって有益な情報や提案をお届けすることを何よりも重視した施策を展開しております。

また、より適確な情報提供や提案を行うために、信用金庫ならではのフットワークを活かした地道な活動を積み重ねることで、他の誰よりもお客さまのことを理解できるよう日々努力しております。

信用金庫と銀行の違いについて、意外とご存じない方が多いのですが、銀行が株主に対する利益分配を最大の目的とする株式会社であるのに対し、我々信用金庫は地域の会員同士が助け合う「相互扶助」の精神に基づいた「協同組織」である点が最も大きな違いといえます。

このため、銀行は利益の拡大を目指して地元地域外へ進出しますが、信用金庫は地元地域との「共存共栄」のため、地域活性化に取組むことを最大の使命としております。

“せいしん”が地域活性化のために行うこと

最近、人口減少をめぐる議論が熱を帯びています。加えて、グローバル化の進展による産業空洞化や新規開業数の減少等により、地方経済規模が縮小していることが大きな問題として取り上げられております。

当地域も例外ではなく、地域外への人口流出数の増加や企業数の減少による経済規模の縮小が地域の衰退へ繋がるとの懸念が高まっております。

このような状況下、私ども“せいしん”が信用金庫として取組んでいかなければならないことは、第一に地域産業・企業の創造と育成のお手伝いと考えております。

先ほど申し上げました通り、景気低迷の時代が長く続いたために、経営者の中には、現状の景気回復局面にも懐疑的な見方をする方もいらっしゃいます。

また、ご苦労される経営者の姿を見て、事業を引継ごうとする後継者や新たに起業したいと考える若い世代も少なくなってきております。この流れを押し止め、明るい展望をもって、しっかりと皆さんの後押しができるような施策を推し進めていきたいと考えております。

第二に、地域の安心・安全を醸成するお手伝いをしていきたいと考えております。

高齢化の進展に伴い、単身の高齢者世帯の増加や高齢者を対象とした詐欺等の犯罪が増加しています。地域のコミュニティが担ってきた、隣人同士の助け合いの輪の中に、“せいしん”も加えていただくことで、高齢者が不慮の犯罪や事故に巻き込まれることを防止するお手伝いをしていきます。

行動することが第一

私は、職員に対し、何よりもまず行動することが大切であると言い続けております。

机の上や頭の中で考えるばかりでは、目的は達成できません。思い付きでの行動はよくありませんが、考え過ぎて、時期を逸することの方が問題です。何よりも、先ずは行動しなければ何も実現することはできません。

いま、“せいしん”では「ものづくり補助金」や「経営革新」等の公的申請のお手伝いをはじめ、後継者問題への取組みや海外進出支援等、経営者が抱える様々な課題解決に注力し、成果をあげつつあります。これらの案件は、殆どが営業店の担当者や支店長がお客さまとの会話の中から得た、小さな気付きから始まったものです。

目利き能力やコンサルティング能力も大切ですが、私たちはこのような小さな気付きを求めて、地元に根を張る信金らしく地道な訪問活動を継続することで地域産業・企業の創造と育成に寄与していきたいと考えます。

また、地域の安心・安全への取組みの一環として、行政と連携し「高齢者見守り隊」として180名を超える営業担当者が単身の高齢者世帯の異常発見と早期対応に協力するほか、犯罪防止に係るセミナーの開催等、高齢者を対象とした詐欺等の犯罪防止への取組みを展開しております。

このように、“せいしん”は地域社会の一員として、地域とお客さまとのふれあいを大切にしていきたいと考えております。

平成26年度は、中期経営計画「せいしん BUILD UP プロジェクト」を総括する当金庫にとって重要な年であります。地域活性化に向けた取組みを継続していくためにも、お客さまの信頼にお応えすることが、私どもに課せられた最大の責務といっても過言ではありません。

地域金融機関を取り巻く環境は、ますます厳しくなるものと思われますが、中期経営計画で策定された施策を完遂するとともに、これまで当金庫が継続してきた堅実経営を更に徹底し、強靭な経営体質を構築していきます。

これからも、“せいしん”は「地域を明るく、元気に」をスローガンに、地域のお客さまと共に成長することを目指してまいります。

理事長 加藤 誠